

2016年12月7日  
株式会社スプレッド

## スペイン・バルセロナで開催 スマートシティエキスポ世界会議 出展のご報告

株式会社スプレッド（本社：京都府京都市、代表取締役社長：稲田 信二、以下「スプレッド」）は、2016年11月15日（火）～17日（木）に、Fira de Barcelona Gran Via（スペイン・バルセロナ市）で開催された「スマートシティエキスポ世界会議」（主催：Fira de Barcelona）にて『Techno Farm™』の展示を行いました。

「スマートシティエキスポ世界会議」は、IT や IoT の先端技術を活用し、再生可能エネルギーなどを用いた循環型社会「スマートシティ」に関する世界会議と展示会で構成される、世界最大規模の国際会議です。スマートシティ産業関連の企業だけでなく、その取り組みを推進する世界の100以上の都市も参加し、来場者は1万人以上にのぼります。

今回、スプレッドは、独立行政法人日本貿易振興機構、スマートシティグローバルネットワーク（京都府）が主催のパビリオンに参加。環境に配慮した都市型農業として、スプレッドが開発した『Techno Farm™』の展示を行いました。京都府は、スプレッドが2017年に『Techno Farm™』を導入した新工場の建設を予定している、けいはんな学研都市においても、「スマートシティエキスポ京都」を主催し、スマートシティの構築を目指しています。

期間中、ご来場された方々からは、「安定的な食料供給が可能となる画期的なアイデアである」、「砂漠や寒冷地、人口が集中する都市部における次世代のインフラとして導入検討をしたい」というお言葉をいただきました。また、山田啓二京都府知事も展示をご覧になり、「新工場の完成を楽しみにしている」というコメントをいただきました。

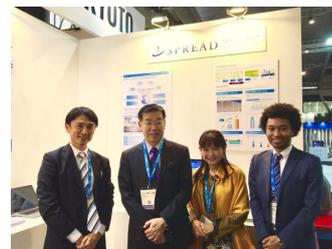
スプレッドの展示にご来場の方々に深く御礼申し上げます。スプレッドは、国内だけでなく海外における持続可能な農業の実現に向けて、他分野との連携と協力を重ね、今後もさらなる技術革新に挑戦し続けてまいります。



パビリオンの様子  
(スプレッドは右側)



展示風景



山田啓二京都府知事  
(左から2番目) 訪問の様子

## News Release

◆『Techno Farm™』とは

スプレッドは自社で保有する工場野菜の栽培技術やノウハウを生かし、設備技術メーカーとの協力で、最先端野菜生産システムを完成させました。この新システムにおいて、大規模植物工場における栽培工程の自動化、水のリサイクル技術、環境制御技術、植物工場専用 LED 照明など、多くの新技術が誕生しています。また、植物工場の大きな課題であるコスト面においては、現在、自社で運営する植物工場「亀岡プラント（京都府亀岡市）」と比較し、人件費 50%、電力費 30%など大幅なコスト削減を実現しました。

【本リリースに関する問い合わせ】

株式会社スプレッド 広報部 森田、安藤

E-mail : [info@spread.co.jp](mailto:info@spread.co.jp)

TEL : 075-326-3850

URL : [www.spread.co.jp](http://www.spread.co.jp)